

「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」応援のぼり旗制作計画

1 応援のぼり旗制作の目的

「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」(以下「両大会」という。)では、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会の開催を目指して県民運動を展開することとしており、応援のぼり旗制作はその取組の一つである。開閉会式会場及びその周辺の沿道等をのぼり旗で飾ることで、選手、監督を“おもてなしの心”で歓迎し、応援の気持ちを届ける。

2 進め方

(1) 県実行委員会(以下「県」という。)は、デザインを旗にプリントする方法でのぼり旗の制作を計画する。

のぼり旗は、両大会に参加する都道府県及び政令指定都市を応援する内容とする。

デザイン枚数 67枚【都道府県(47)＋政令指定都市(20)】

制作枚数 201枚【67枚×3セット】

※ デザイン枚数、制作枚数は基本枚数であり、使用用途等により、変更する可能性がある。

(2) 県は、高等学校(県立・私立)に制作希望調査を行い、回答をもとに、学校ごとのデザイン枚数及び担当する都道府県を割り振る。

※ 使用する画材は自由とし、デジタル作品も可とする。

(3) 県は、制作を希望した学校に必要な枚数分の画用紙を配付し、デザインを依頼する。

※ 画用紙のほか、画材が必要な場合は準備する。

(4) 県は、学校から提出されたデザインを旗にプリントする。

3 使用機会

(1) 国スポ・障スポ開閉会式会場及びその周辺の沿道等への掲出

※ 競技会場の応援のぼり旗については、以下のとおり制作・掲出が行われる。

(参考) 国スポ競技会場：応援のぼり旗の制作については、会場地市町村の判断。

小・中学校等への依頼が想定される。

障スポ競技会場：県(障スポ大会課)が実施。特別支援学校等への依頼を想定している。

(2) 広報物へのデザイン使用

4 スケジュール(予定)

令和7年5月 応援のぼり旗制作計画の策定

令和7年6月 学校への制作希望調査の実施

令和7年9月 学校へのデザイン制作依頼

令和8年1月 デザイン回収

令和8年2月 のぼり旗へのプリント

令和8年5月 イベント等での掲出、広報物へのデザイン使用

令和9年9月 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ 開閉会式会場等への掲出

【参考 先催県の取組】

燃ゆる感動 かごしま国体・かごしま大会 鹿児島県大崎町の取組

※ 画用紙に描いたデザインを旗にプリントする方法で制作した例

～学校での大まかな進め方～

- ① 応援する都道府県や政令指定都市について調べて、どんなデザインにするか考える。

どちらか

- ② 画用紙にデザインをする。
デジタルでデザインする。

※ 都道府県名や政令指定都市名は必ず書く。

- ③ 色を塗る。
- ④ 県に提出する。

のぼり旗へのプリント（事務局）

燃ゆる感動 かごしま国体
燃ゆる感動 かごしま大会
ようこそ！大崎町へ

画用紙へのデザイン（学校）



…学校がデザインする部分



…事務局がデザインする部分

私たちも応援しています！

持留小学校



大崎町実行委員会